

拠出金名：国際機関等拠出金

国際機関等名	欧州安全保障協力機構 (OSCE)					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省欧州局政策課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レ ー ト		
平成15年度	1,806		15.43	1EUR=107円	(2003年)0.0087	
平成14年度	2,354		21.8	1EUR=108円	(2002年)0.0077	
平成13年度	2,180		21.8	1EUR=100円	(2001年)0.0077	
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年のもの	
1位	ドイツ		9.1			
2位	英国		9.1			
3位	イタリア		9.1			
4位	米国		9.0			
5位	ロシア		9.0			
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
1995年の設立以来(前進は75年に設置されたCSCE)、OSCEは我が国の安全保障に大きな影響を与えるロシアを含む欧州の軍備管理・軍縮面で大きな成果を残している。我が国も92年以来、「協力のためのパートナー」として、外相理事会、常設理事会、群議監視・軍縮を扱う安全保障協力フォーラム(ウィーン)等に積極的に参加し、情報を収集するとともに、我が国の政策説明を含む知的貢献、選挙監視・監理、ミッションへの人的貢献も行っている。(パートナー国10か国の中で特別なステータスを付与)。 また、2003年からアジアコンタクトグループ会合(年4回)が開催され、我が国を含むアジアパートナー国の意見の反映がこれまで以上に可能となった。併せて、アジアパートナー国とOSCEの共催会議を開催(2000年から日・韓・タイの輪番)しており、OSCEの政策に貢献している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 OSCE加盟国間では、拠出分担率の見直しを含め、意思決定機関である常設理事会等において協議が行われている。OSCEの機構については、透明性の確保、事務局及びOSCE諸組織の効率性向上・合理化につき、併せ検討がなされている。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率			約4,500人 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
特になし						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2001年～2003年)。